

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 砂防指定地内河川 鍋屋谷川 通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金） 一級河川 江の川水系 鍋屋谷川

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名		Bor. No. 5		調査位置		広島県三次市栗屋町		北緯		34° 47' 44.4619"	
発注機関		広島県北部建設事務所		調査期間		2022年 5月 30日 ~ 2022年 6月 1日		東経		132° 50' 0.4178"	
調査業者名				主任技師				現代場代理人		コア確定者	
孔口標高		T. P. 188.73m		角				方位			
総削孔長		9.00m		地盤勾配				使用機種		東邦地下工機 D1-B58	
				エンジン		ヤンマー NFD-13		ポンプ		YBM SP-40B	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取番号	室位置試験	削孔月日			
												深度-N値図									深 度 (m)	100mm 打撃回	100mm 打撃回
	187.83	0.90		シルト質砂		褐			新生代第四紀	表土および崩積土に相当。砂分は細砂主体。指圧可能な風化礫を少量混入する。													
	187.13	1.60		風化流紋岩		淡褐				砂状コアから角礫状コアへと漸移する。砂状部分は指圧で崩れ、角礫は指圧不可能な硬さを有す。 【DII級・軟岩Iに相当する】	65/31 1.99		79	1.15	20	30	50	190					
	186.73	2.00		風化流紋岩		淡桃褐				核岩状に短柱ないし岩片状コアをなす。岩芯風化し軟質である。 【CI級・軟岩Iに相当する】	66/01 2.65		107	2.05	31	19	50	140				5/30	
	185.98	2.75		風化流紋岩		淡灰褐				土砂化を伴った角礫状コア主体。土砂部の多くは流失する。 【DII級・軟岩Iに相当する】	66/01 2.65			3.00	貫入不能		50	0					
	184.43	4.30		風化流紋岩		淡黄褐				短柱・柱状コアとやや大径の角礫状コアが不規則に繰り返す。 岩片は中硬質である。 3.65m以深、明瞭な変質を伴い、破砕岩核の組織が認められる。 【CI級・軟岩Iに相当する】				4.00	貫入不能		50	0					
	183.83	4.90		風化流紋岩		淡褐			中生代白亜紀	角礫状コアからなる。岩片は中硬質。変質粘土が流状しているように見える。 【DII級・軟岩Iに相当する】				5.00	貫入不能		50	0					
	182.73	6.00		風化ひん岩		暗褐灰				大塊の岩片状コアを主体とするが、概ね円形コア形状を維持する。岩片は中硬質。上盤境界付近には破砕組織を認める。 【CI級・軟岩Iに相当する】				6.00	貫入不能		50	0				5/31	
				風化流紋岩		桃灰				岩盤性状不安定で、コア形状は一定しない。ごく短柱状コアと岩片状コアが主体をなし、所々が角礫状に小割れている。割れ目の周囲を除けば岩片の風化程度は弱く、岩質は硬質である。割れ目やヘアークラックに沿って弱い変質を伴っている。 【CI級・軟岩Iに相当する】				7.00	貫入不能		50	0					
	179.73	9.00												8.00	貫入不能		50	0				6/1	
														9.00	貫入不能		50	0					